

U Walker ユーウォーカー

TW-300 (ローター)

取扱説明書

ごあいさつ

このたびはタカノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書は、製品の使い方と使用上の注意事項が記載されています。
ご使用前に、よくお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

1 お使いになる前に	2
2 ご使用にあたって	6
3 ご使用方法	10
4 各部の調節	14
5 末長くお使いいただくために	17
6 仕様一覧	19
7 保証書および無償修理について	20



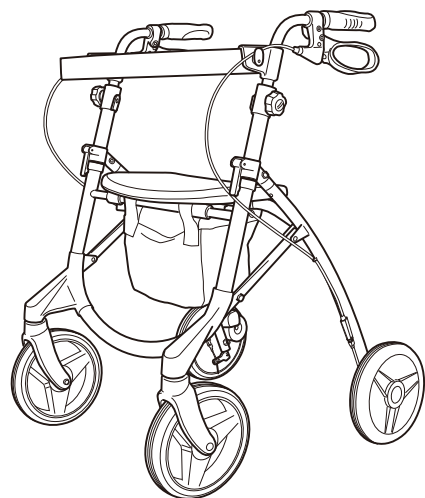
この製品は、歩行時の安定性確保、または支持のために使用する歩行支援用具です。

1 お使いになる前に

箱から取り出す

U Walker (ユーウォーカー) を取り出して、梱包内容に漏れや破損がないことを確認してください。

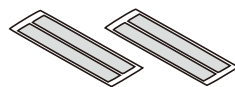
☐ 本体



☐ 取扱説明書



☐ 反射シール (4 枚)



☐ スパナ (2 本)



万一、梱包内容に不足や破損があった場合は、お買い求めいただいた販売店、または以下までお問い合わせください。

タカノお客様ご相談窓口



フリー
ダイヤル

0120-825-845

(受付時間 土日祝日除く 月～金曜日 9:00 ～ 17:00 携帯電話・PHS からもご利用いただけます。)

※混雑時にはつながりにくい場合があります。時間をおいてからお掛け直してください。

準備

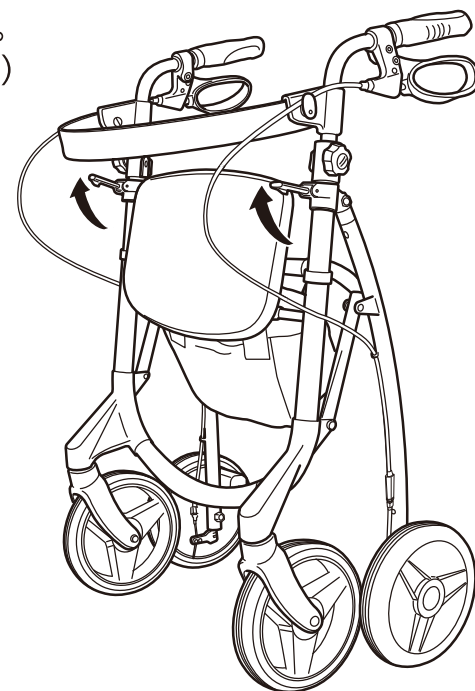
1 箱から取り出して、製品を梱包しているビニールや、テープなどを取り除きます。



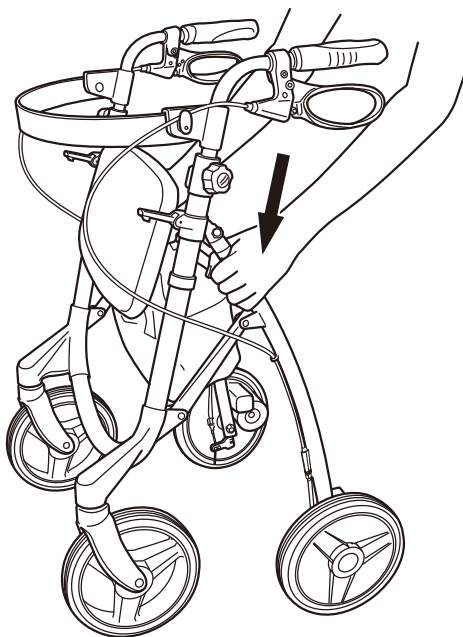
箱から取り出すときは、2 人で取り出してください。

2 開きます。

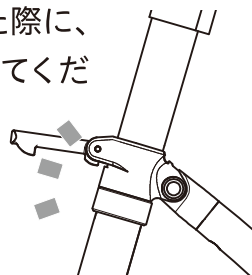
① 脚開閉レバーを上げます。
(左右に 2 箇所あります。)



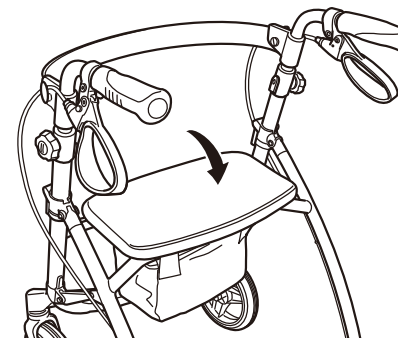
- ② 両手で後フレームパイプを押し下げます。



後フレームパイプを押し下げた際に、指をはさまないように注意してください。

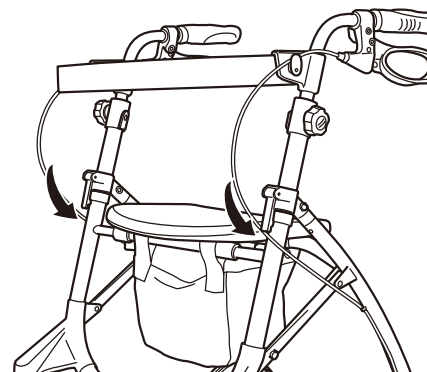


- ③ 座を下ろします。



座とフレームの間で、指をはさまないように注意してください。

- ④ 脚開閉レバーを下ろします（左右 2 箇所）。



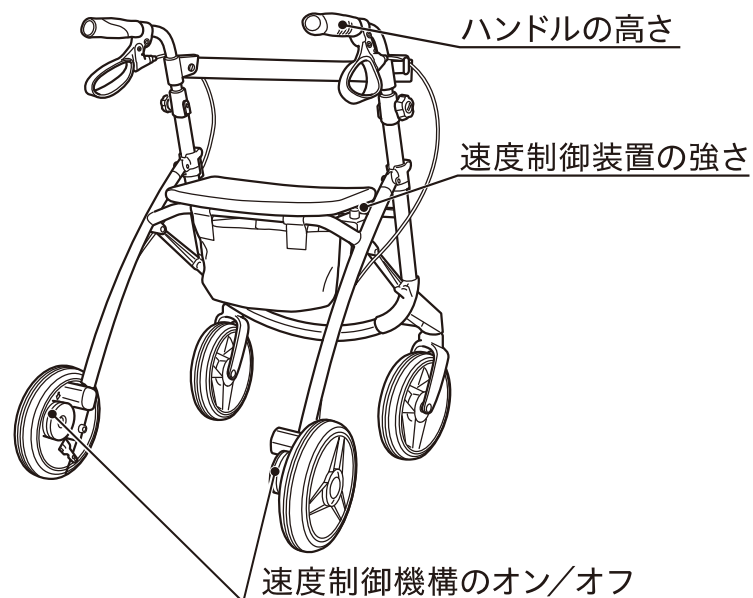
ご使用の際は、必ず脚開閉レバーを下ろしてください。

1 お使いになる前に

3 ご利用者さまの身体状態に合わせて、各部を調節します。

組み立ておよび調節は確実に行ってください。

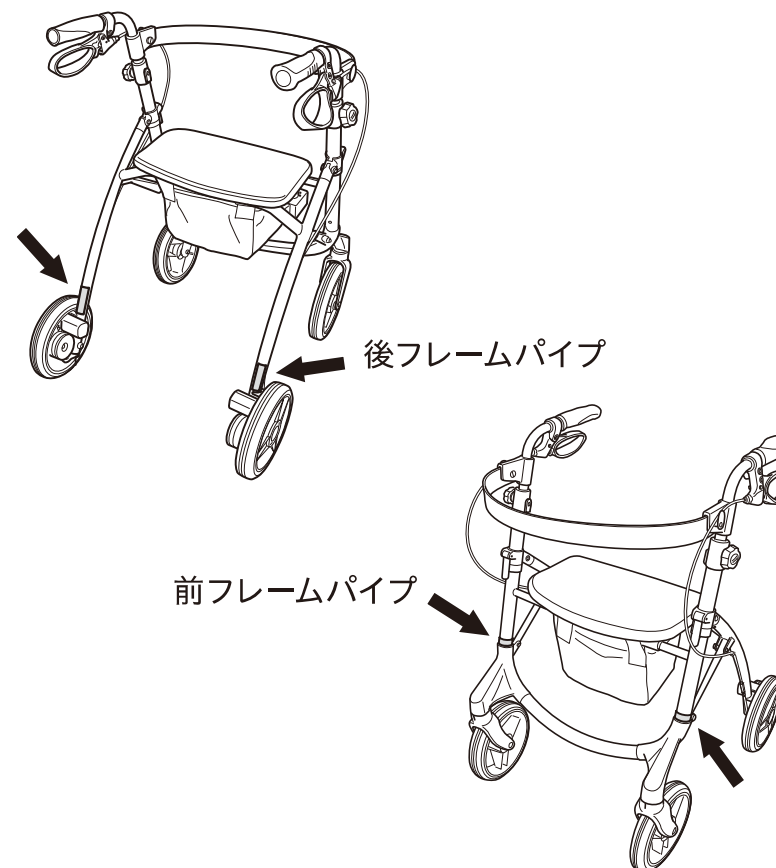
調節方法は、14 ページ以降に説明しています。



- ・ ハンドルの高さは、ご利用者さまの身体状況に合わせて 5 段階に調節できます。
- ・ 速度制御はオン/オフの切り替えと、強さを調節できます。
- ・ 調整後は、ブレーキのききが適切な強さかを確認してください。
- ・ ハンドルの高さは、左右同じにしてください。

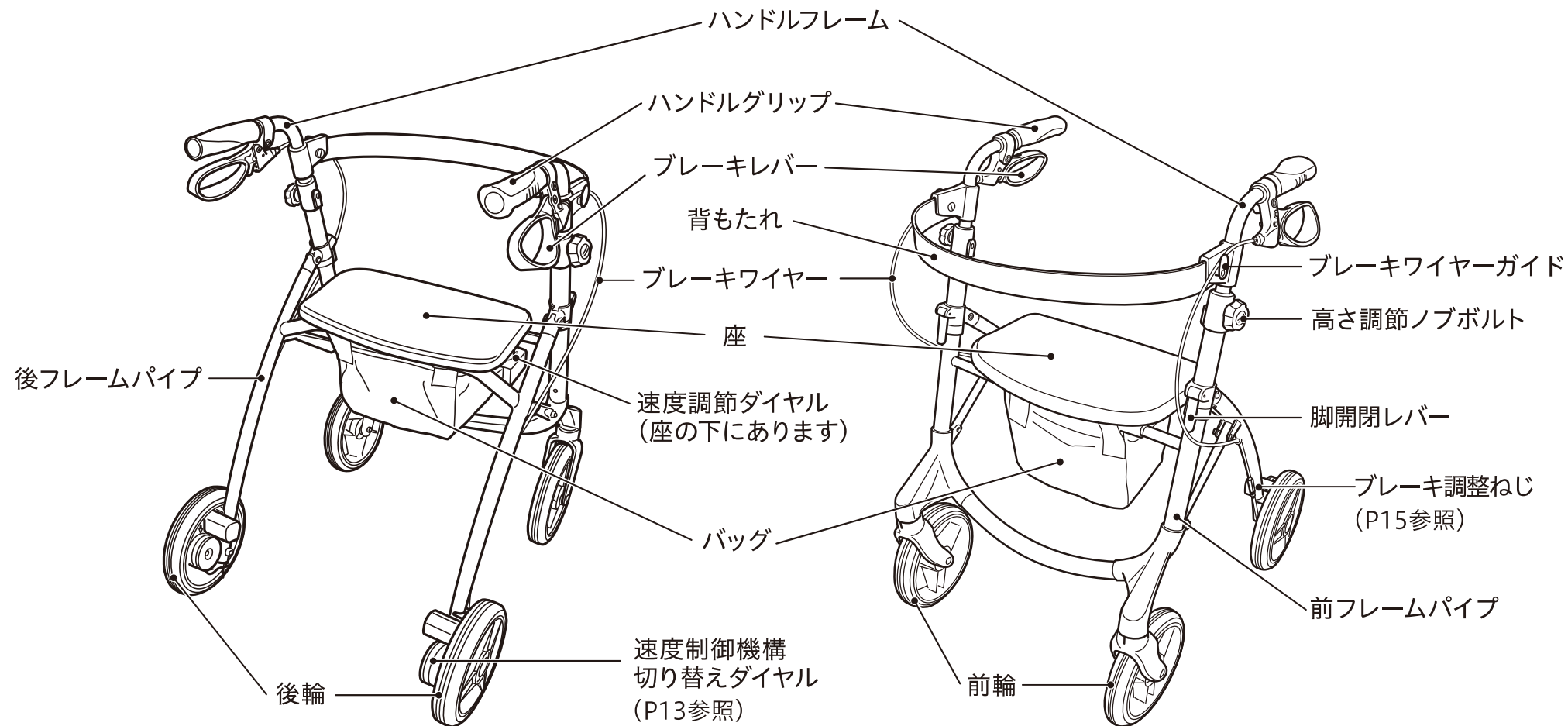


添付の反射シールは、以下の位置に貼ることをお勧めします。



(一度貼ると貼り直しはできません。)

各部の名称



2 ご使用にあたって

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う危険性があることを示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する危険性があることを示しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

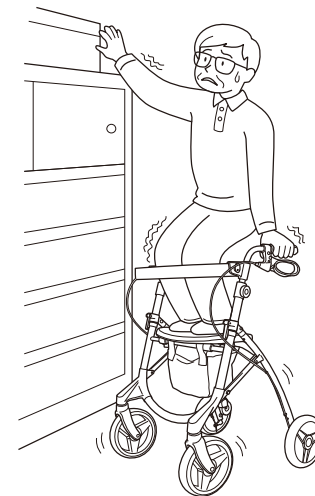


歩行時の安定性確保、または支持のために使用する歩行支援用具です。目的以外の使い方は絶対にしないでください。転倒や事故・破損の原因となります。

例 ・子どもの遊具
・乗り物など



座面の上に立たないでください。転倒する恐れがあり非常に危険です。



⚠ 警告



階段・エスカレーターでは使用しないでください。また、段差および溝のあるところで使用する場合は、十分に注意してください。転倒する恐れがあり危険です。



この製品は一人用です。
二人以上、同時に座らないでください。
転倒や事故・破損の原因となります。



⚠ 注意



坂道など、傾斜のあるところでは座面に座らないでください。また、傾斜地で使用する場合は十分に注意してください。転倒する恐れがあり危険です。



ハンドル、ブレーキレバー、ハンドル高さ調節ノブボルト、速度調節ダイヤルにはものをかけないでください。
転倒や事故・破損の原因となります。



この製品は車いすではありません。人を乗せて移動しないでください。転倒や事故・破損の原因となります。



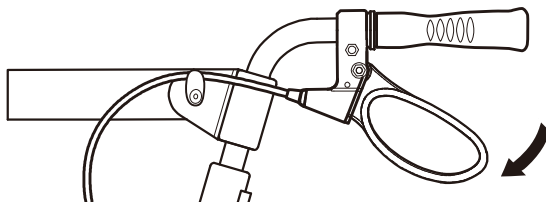
踏切を横断するときは線路の溝に注意してください。
車輪がはさまることがあります。

2 ご使用にあたって

⚠ 注意



座るときは、必ず左右両輪にブレーキロックをかけてください。



ブレーキワイヤーを引っ張らないでください。ブレーキ・ブレーキロック機能に異常をきたし、事故・転倒・破損の原因となります。



凍結した路面や雪道では使用しないでください。また、荒れた路面で使用する場合は十分に注意してください。転倒する恐れがあり危険です。



お使いになる前に、ブレーキおよびブレーキロックのきき具合、タイヤの減り具合を点検してください。ブレーキのききがゆるくなっている場合は、必ず調整してください。(調整方法は14ページを参照してください。) 修理や交換が必要な場合はお問い合わせいただいた販売店、または以下までお問い合わせください。

タカノお客様ご相談窓口



フリー
ダイヤル

0120-825-845

(受付時間 土日祝日除く 月～金曜日 9:00～17:00 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※混雑時にはつながりにくい場合があります。時間をおいてからお掛け直してください。



この製品の耐荷重は80kgです。それ以上の体重の方は使用しないでください。事故・破損の原因となります。



ハンドルの高さや速度制御の調節をする場合は、周りに人がいないことを確認してください。



この製品を分解・改造しないでください。事故・破損の原因となります。

⚠ 注意



交通の頻繁なところや混雑する場所では、自動車、自転車、人などに十分に注意してください。
転倒や事故の恐れがあり危険です。



火のそばや高温になるところに保管・放置しないでください。
火災や破損の原因となります。



直射日光や風雨の当たる場所で保管しないでください。
故障や破損の原因となります。



バッグ内には乳幼児を乗せたり 3kg 以上のものを入れないでください。転倒・破損の原因となります。



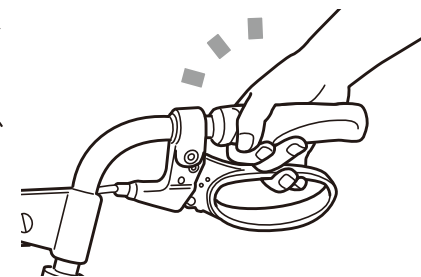
夜間に使用する場合は、十分に注意してください。
路面の状態が見えないため危険です。
事故の原因となります。



雨ざらしにしないでください。
速度調節ダイヤル部と後輪には電子部品を使用しており、水にぬれると故障の原因となります。
また、金属部品がさびて故障の原因となります。



ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたままブレーキをかけないでください。
けがの原因となります。



防さび・潤滑剤は使用しないでください。プラスチック部品が劣化する恐れがあります。
故障の原因となります。



ブレーキロックをかけたまま押さないでください。
タイヤが著しく摩耗する恐れがあります。
故障の原因となります。

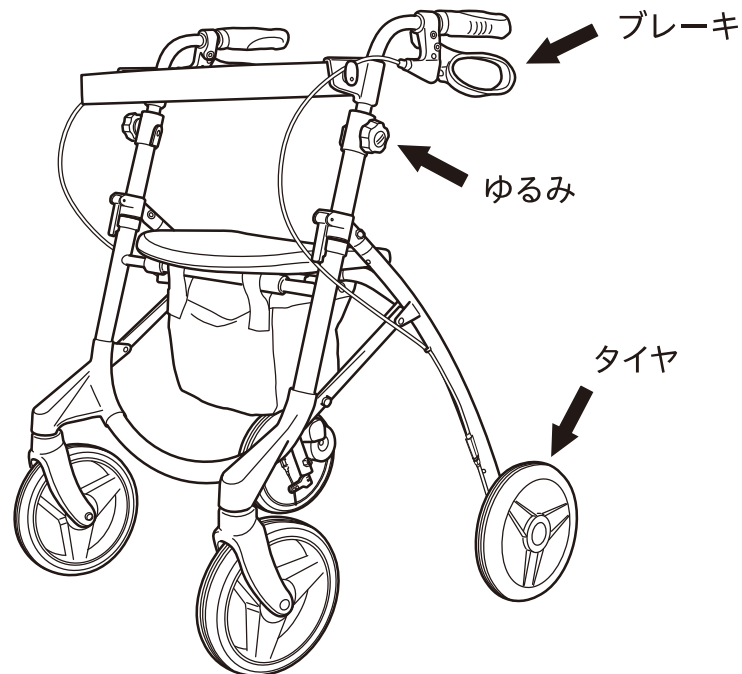
3 ご使用方法

ご使用前の点検

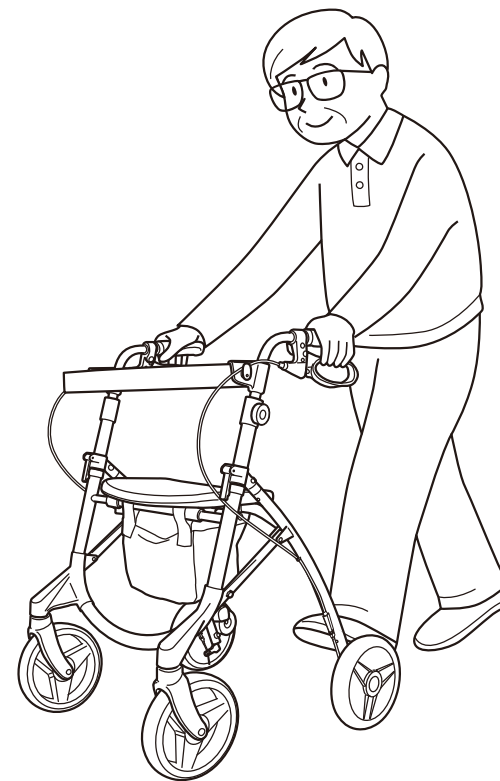
毎回ご使用になる前に、次のことを確認してください。

不具合や異常のある場合は使用しないでください。

- ☐ 左右両輪のブレーキはききますか？
- ☐ 左右両輪のブレーキロックはかかりますか？
- ☐ タイヤはすり減っていませんか？
またスムーズに回転しますか？
- ☐ タイヤの取り付け部分にゆるみはありませんか？
- ☐ ねじ止め部分や部品の取り付け部分にゆるみはありませんか？



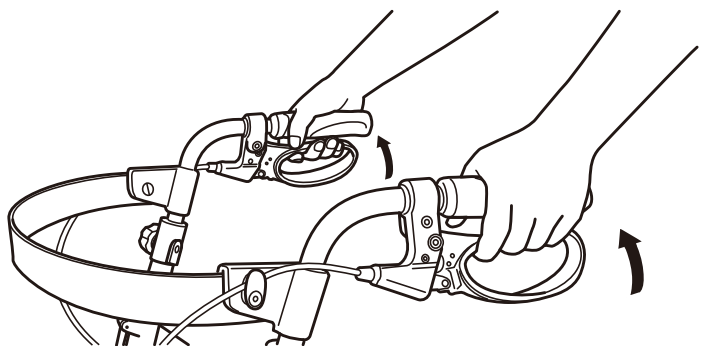
歩き方



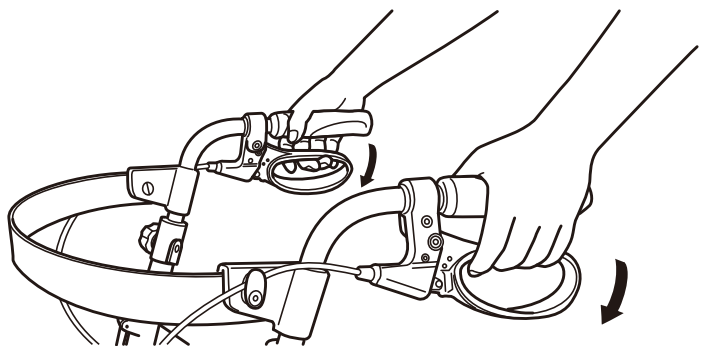
左右のハンドルの内側に立ち、ハンドルグリップに荷重をかけ、製品をpushするように歩きます。

ブレーキをかけるには

1 ブレーキを握ると、ブレーキがかかります。



2 ブレーキレバーを離すと、ブレーキがはずれます。

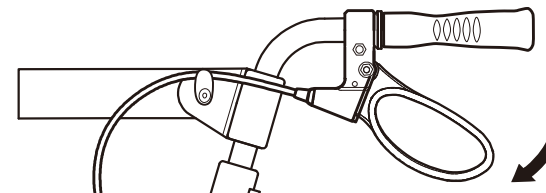


ブレーキは左右同時に、同じ強さでかけましょう。

ブレーキロックをかけるには

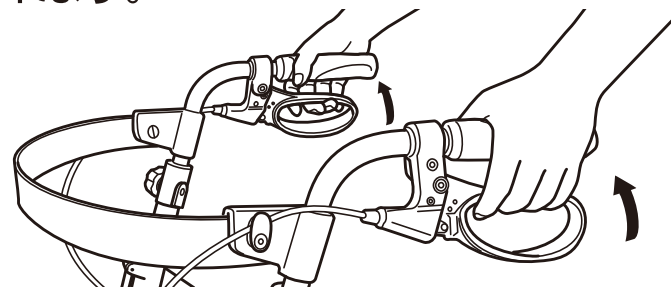
ブレーキロックは、座るときや、一時的に停めておくときなどに使います。

1 ブレーキレバーを下に押すと、ブレーキロックがかかります。



後輪がロックされます。

2 ブレーキレバーを握ると、ブレーキロックが解除されます。



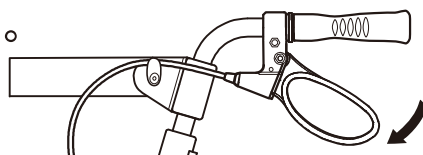
- ・ ブレーキロックをかけるときは左右両輪にかけてください。
- ・ 移動するときは、必ずブレーキロックを解除してください。

3 ご使用方法

いすに座るには

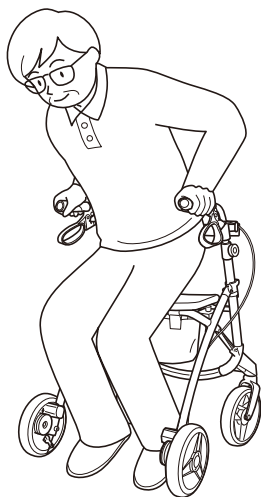
座るときは、必ず左右両輪にブレーキロックをかけて、本体が動かないようにしてください。

1 ブレーキロックをかけます。

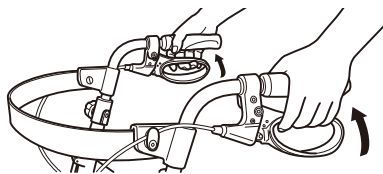


2 ハンドルにつかまって、腰を下ろします。

 立ち上がる時も、ハンドルにつかまると立ち上がりやすいです。



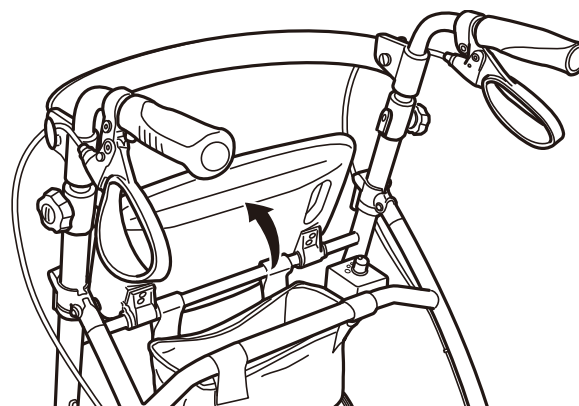
3 移動するときは、ブレーキロックを解除します。



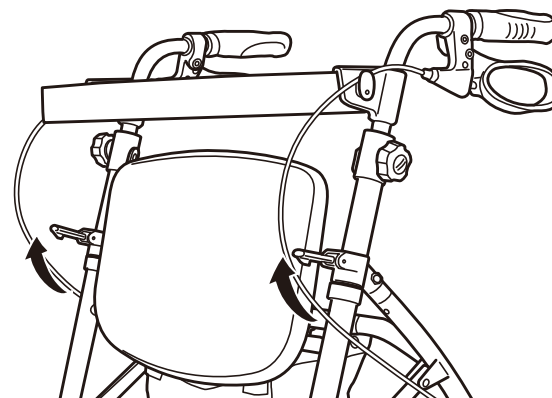
座ったままブレーキロックを解除しないでください。

しまうときは（折りたたみ方）

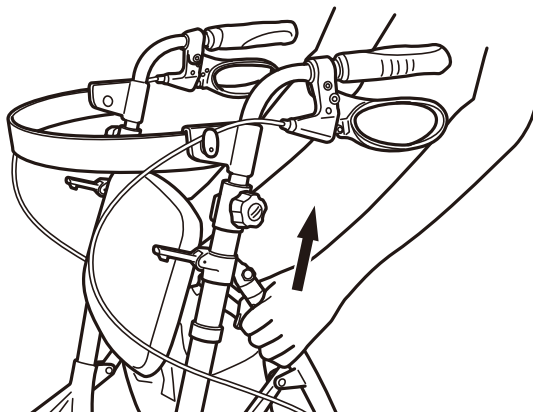
1 座をはね上げます。



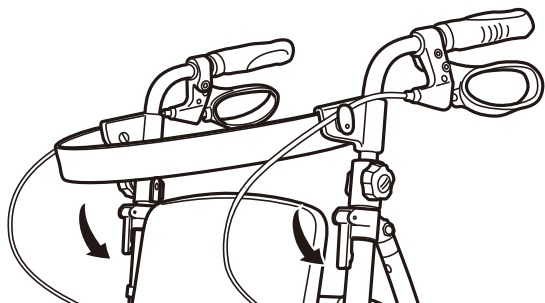
2 脚開閉レバーを上げます。
（左右に2箇所あります。）



3 両手で後フレームパイプを引き上げます。



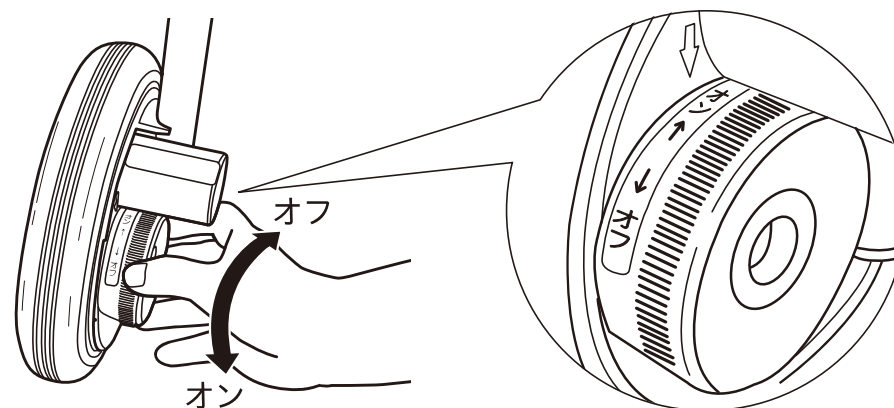
4 脚開閉レバーを下げます（左右2箇所）。



脚開閉レバーは、折りたたんだ状態の自立を目的としています。上からの荷重をかけると開いてしまうことがあります。

速度制御機構のオン／オフを切り替える

1 速度制御機構切り替えダイヤルを回して、矢印の位置に「オン」「オフ」の表示を合わせます。
（左右2箇所）



カチッと音がして、オン／オフが切り替わります。
速度制御機構作動時には、制御機構の作動音がします。異常や故障ではありません。



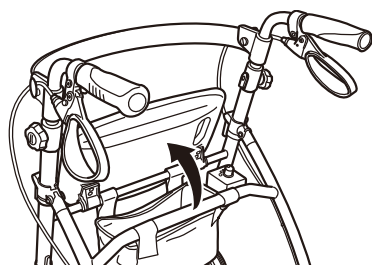
- ・ 強さを調節することができます。14 ページで説明しています。

4 各部の調節

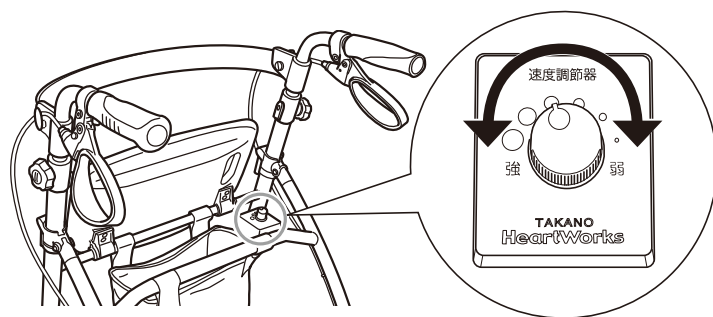
速度制御装置の強さを調節する

速度制御機能の強さを調節できます。

1 座をはね上げます。



2 速度制御調節ダイヤルを回します。反時計回りに回すと強く、時計回りに回すと弱くなります。



3 座を下ろします。



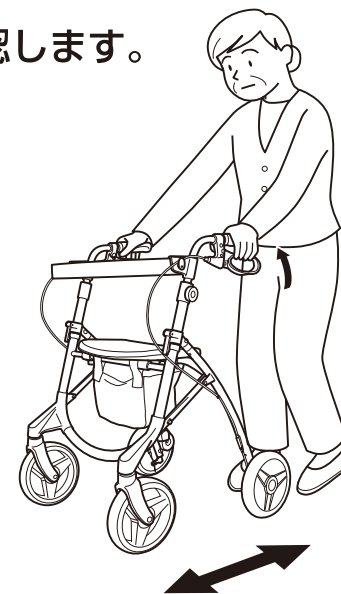
座とフレームの間で、指をはさまないように注意してください。

ブレーキのきき方を調整する

本製品のブレーキを繰り返し使用することで次第にブレーキがゆるくなってしまう場合があります。きき具合を確認して、ゆるくなっている場合は必ず調整してからお使いください。

1 ブレーキのきき具合を確認します。

ブレーキレバーを握った状態で製品を動かしてみます。



後輪の回転が止まらず、動いてしまう場合はブレーキが弱まっています。15 ページの説明に従って調整してください。

以上の方法でも調整できない場合は、販売店または以下の連絡先までお問い合わせください。

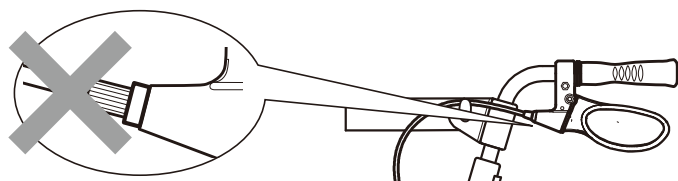
タカノお客様ご相談窓口  フリーダイヤル **0120-825-845**

(受付時間 土日祝日除く 月～金曜日 9:00 ～ 17:00 携帯電話・PHS からもご利用いただけます。)

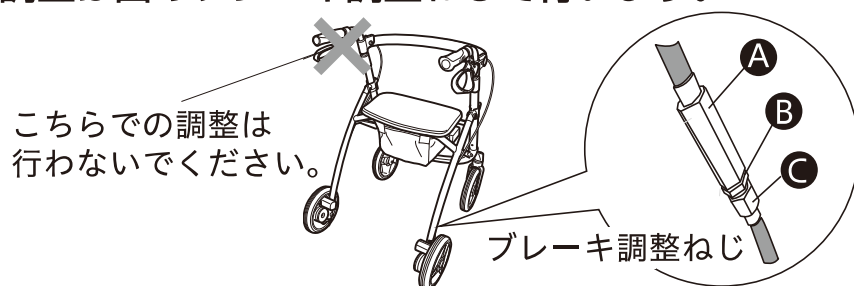
※混雑時にはつながりにくい場合があります。時間をおいてからお掛け直してください。

2 ブレーキは以下の手順で調整します。左右それぞれ調整が必要です。

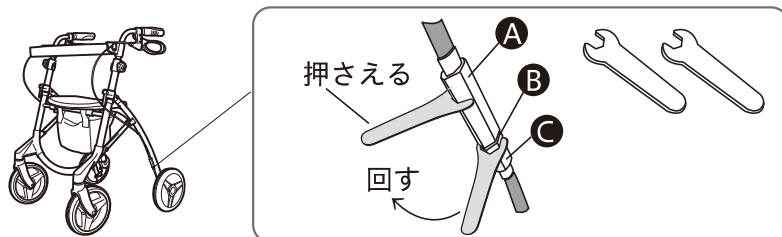
! 図の部分でのブレーキ調整は行わないでください。
(ネジは図のように、通常は閉め切ってください。)



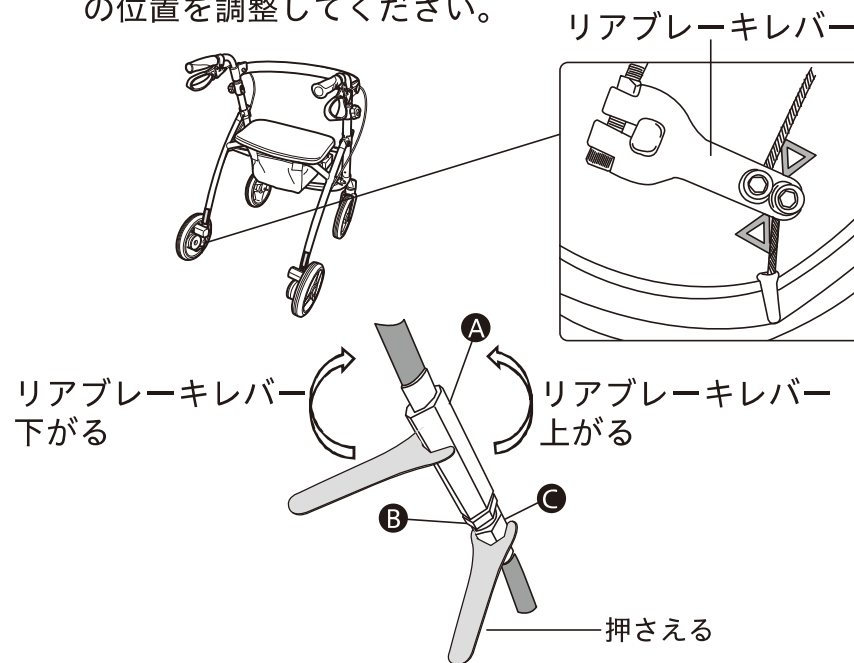
調整は図のブレーキ調整ねじで行います。



- ① **A**を押さえながら、**B**を矢印の方向に回し(時計回り)
Bをゆるめます。(付属のスパナをご利用ください。)



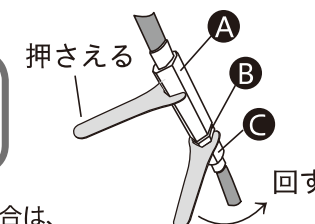
- ② 図のようにリアブレーキレバーが三角印の中心にくるように、**C**を押さえながら**A**を回してリアブレーキレバーの位置を調整してください。



- ③ 調整がすんだら、**A**を押さえながら**B**を矢印の方向(反時計回り)に回して固定してください。

必ず付属のスパナを使って固定してください。

※ブレーキ調整ねじがついていない仕様の場合は、調整方法が異なりますのでお問い合わせください。

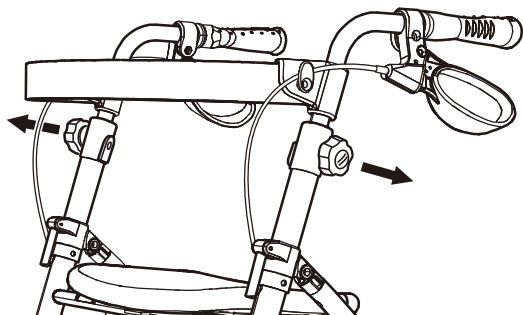


4 各部の調節

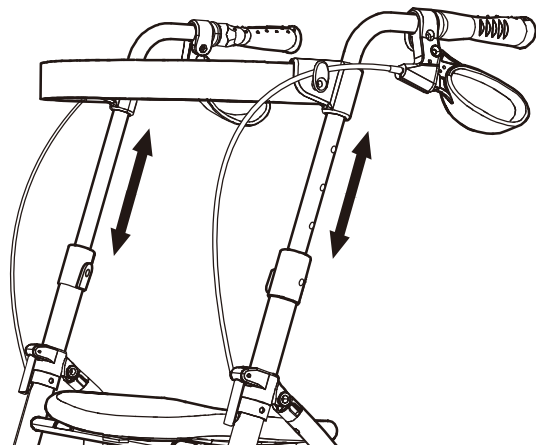
ハンドルの高さを調節する

ハンドルの高さは5段階に調節できます。ご利用者さまの身体状況に合わせて調節してください。

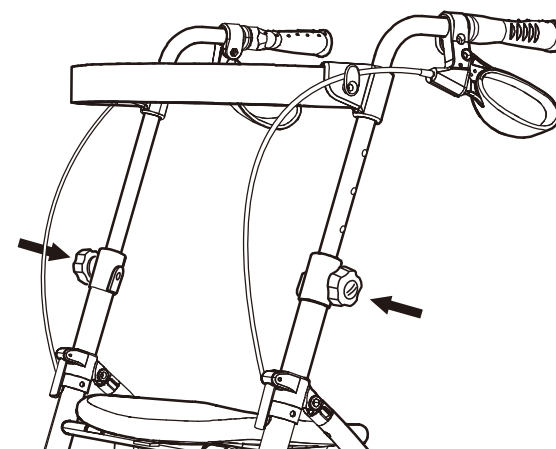
1 高さ調節ノブボルトをゆるめ、抜き取ります。



2 ハンドルの高さを調節します。



3 ハンドルをご利用者さまの使いやすい高さにし、高さ調節ノブボルトを穴に入れて締めつけます。



4 ハンドルが固定されているか、がたつきがないか、確認してください。



- ・ハンドルの高さ調節は、片側ずつ行うことができます。
- ・調整後は、ブレーキのききが適切な強さかを確認してください。
- ・ハンドルの高さは、左右同じにしてください。

タカノお客様ご相談窓口  フリーダイヤル 0120-825-845

(受付時間 土日祝日除く 月～金曜日 9:00～17:00 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※混雑時にはつながりにくい場合があります。時間をおいてからお掛け直してください。

5 末長くお使いいただくために

日常のお手入れの仕方

■ 保管の仕方

- 直射日光を避け、湿気が少なく、雨やホコリのかからない場所に保管してください。金属部がさびて故障の原因になる恐れがあります。
- 荷物を載せたり圧力が加わる状態で保管しないでください。故障や変形の原因になります。
- 火のそばや高温になる場所には保管しないでください。故障や変形の原因になります。

■ 本体のお手入れについて

- 座面・フレームなどは、ぬれた布でホコリ・汚れを落とし、乾いた布で拭いてください。
- 車輪に付いた泥やホコリはそのまま放置しないで、拭きとってください。そのままにしておきますと、スムーズに回転しなかったり、きしむことがあります。

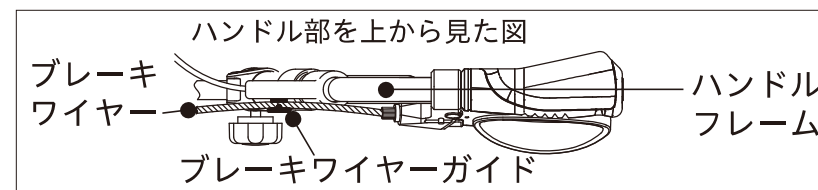
■ バッグのお手入れについて

- 中性洗剤で拭いたあと、水拭きをしてください。
- ドライクリーニングはしないでください。
- アイロンかけはしないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。

■ 点検について

- ブレーキワイヤーがブレーキワイヤーガイドから外れていないことを確認をしてください。

- ブレーキレバーの位置が、適切な位置か確認をしてください。



ブレーキワイヤーはハンドルフレーム・ブレーキワイヤーガイドに沿うように調整してください。

- ブレーキワイヤーの端部が、適切な場所に組み付けているか確認をしてください。
- 日ごろから、ブレーキがきくか確認してください。また、ブレーキワイヤーが切れていたり、ブレーキのきき具合が悪いときなどには、ご使用をやめて、販売店または左下の連絡先までお問い合わせください。
- 日ごろから、ブレーキロックがきくか確認してください。ブレーキロックをして後輪が回転しなければ正常です。きき具合が悪いときなどには、ご使用をやめて、販売店または左下の連絡先までお問い合わせください。
- 車輪が摩耗していたり変形していないか、また、スムーズに回転するか確認してください。異常がある場合は、ご使用をやめて、販売店または以下の連絡先までお問い合わせください。
- その他、破損・故障など不具合がありましたら、すぐにご使用をやめて、販売店またはP16右下の連絡先までお問い合わせください。

5 末長くお使いいただくために

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の項目をもう一度チェックしてください。

症状・状態	確認	対処方法	参照ページ
速度制御が きかない	速度制御機構がオン になっていますか？	速度制御機構のオン/オフの 切り替えをご覧になり、「オン」 に切り替えてみてください。	13
速度制御が 調整できない	速度制御機構がオン になっていますか？	速度制御機構のオン/オフの 切り替えをご覧になり、「オン」 に切り替えてみてください。	13
ブレーキロッ クがきかない	ブレーキレバーは確実 に下がっていますか？	ブレーキロックのかけ方をご 覧になり、ブレーキレバーを 下げてみてください。	11
折りたたみが できない	しまい方をご覧になり、手順に従って折りたたんでみ てください。		12～13
ブレーキがき かない	ブレーキワイヤーがゆ るんでいませんか？	ブレーキのきき方を調整する をご覧になり、ブレーキワイ ヤーを調整してみてください。	14～15
高さが調節で きない	ハンドルの高さ調節をご覧になり、調節してみても ください。		16

以上の方法でも不具合が直らないときは、恐れ入りますがお求めの販売店にご連絡ください。

転居、贈り物などでお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、右記の連絡先までお問い合わせください。

保証とアフターサービス

この製品には、取扱説明書の巻末に保証書が付いています。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証期間中の修理など、アフターサービスについてお問い合わせがございましたら、お買い上げの販売店、または以下までお問い合わせください。

なお、修理の際は、以下のことをお伝えください。

- ① お名前・ご住所・お電話番号
- ② お買い上げ日（保証書をご覧ください）
- ③ 故障内容・異常の状態（できるだけ詳しくお願いいたします）

保証期間後の修理については、お買い求めいただいた販売店、または以下までお問い合わせください。修理により、正常に使用できる製品については、有料で修理させていただきます。お気軽にご相談ください。

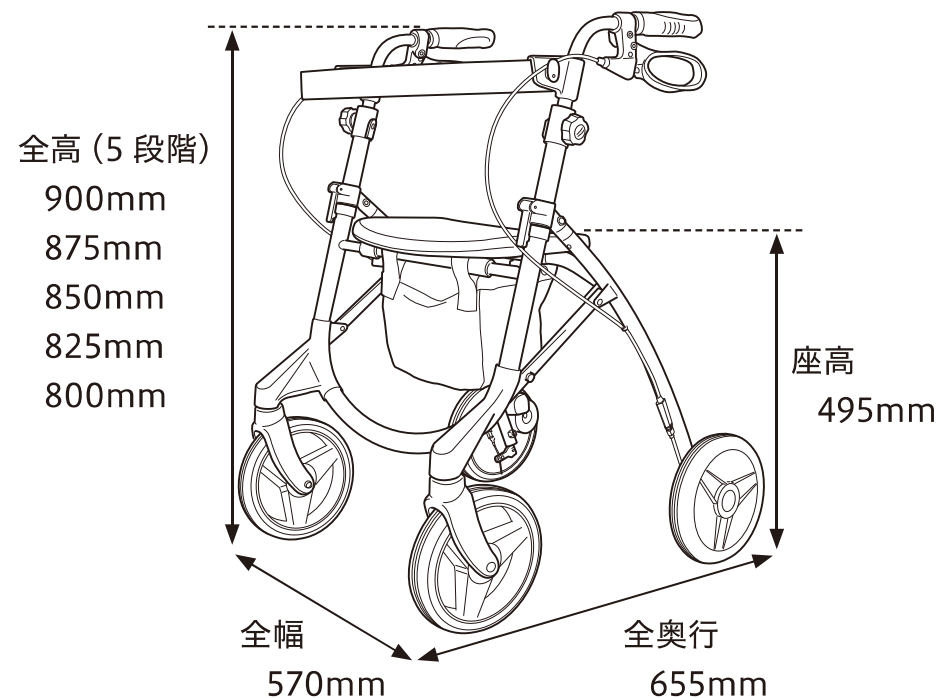
タカノお客様ご相談窓口  フリーダイヤル 0120-825-845

（受付時間 土日祝日除く 月～金曜日 9:00～17:00 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。）

※混雑時にはつながりにくい場合があります。時間をおいてからお掛け直してください。

6 仕様一覧

項目		仕様	
名称 型番	商品名称	ユーウォーカー U Walker	
	形式	TW-300	
	TAIS コード	00297-000100	
寸法 重量		使用時	折りたたみ時
	全幅	570mm	570mm
	全奥行	655mm	390mm
	全高	800 ~ 900mm (5 段階)	870mm
	座幅	360mm	—
	座奥行	230mm	—
	座高	495mm	—
	ハンドル幅	外側 490mm、内側 385mm	
	車輪径	φ 200mm	
	製品重量	9.9kg	
	最大使用者体重	80kg	
主な 使用材料	バッグ	3kg	
	ハンドルフレーム	ステンレスパイプ	
	前後フレームパイプ	スチールパイプ	
	ハンドルグリップ	エラストマー	
	ブレーキレバー	強化ナイロン	
	座	ポリエチレン	
	車輪	合成ゴム、強化ナイロン	
	バッグ	ナイロン	



本製品は SG マーク付きの製品です。

SG マーク制度は、製品の欠陥によって発生した人身事故に対する賠償制度です。